

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組状況

お取引先のニーズや事業課題を共有し、課題解決に向け、経営改善計画策定のサポートや外部機関との連携による経営支援を行っています。

「知恵と親切の提供」によるコンサルティング機能を強化し、お取引先の発展をサポートすることで、「地域社会との共存共栄」の実現に努めています。

1. 中小企業の経営支援に関する取組方針

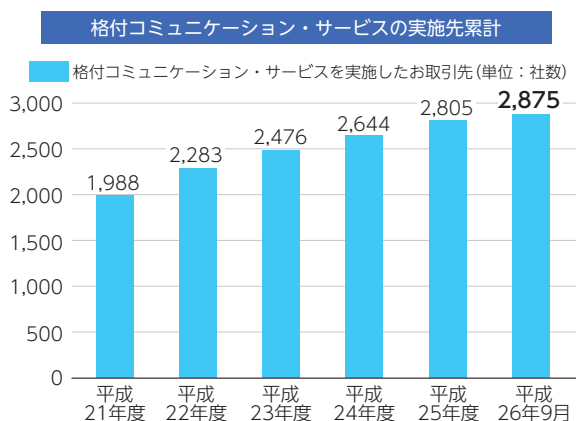
中小企業金融円滑化法は平成25年3月末をもって期限の到来を迎えましたが、期限到来後も、地域金融機関として金融の円滑化に資するという当行の使命は何ら変わるものではなく、「知恵と親切の提供」によるコンサルティング機能を積極的に発揮し、お取引先のご要望やライフサイクルに応じた最適な解決策をお取引先の立場に立てて提案し、十分な時間をかけてサポートしてまいります。

2. 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

■格付コミュニケーション・サービス

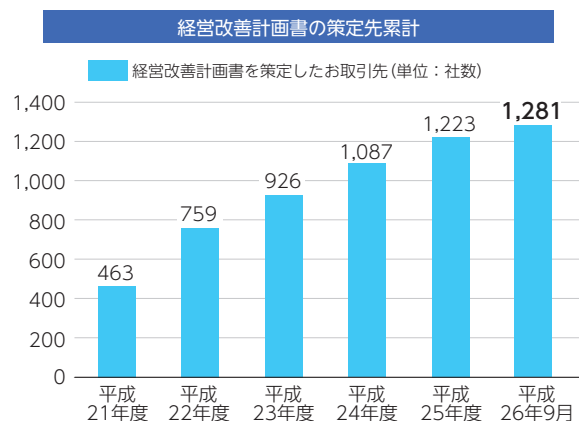
当行では「企業格付」を、お取引先と当行をつなぐ合理的なコミュニケーション・ツールとして位置づけています。決算書に基づいた定量的な財務分析と、当行独自の審査ノウハウによる定性評価に加え、多くの情報を総合的に分析して合理的に格付を決定します。

「格付コミュニケーション・サービス」は、格付プロセスを通じて把握したお取引先の「強み」、「弱み」を共有し、問題解決や財務改善を図ることで、お取引先の持続的な経営基盤の構築や企業価値向上を目指すものです。具体的には、お取引先の経営ビジョンをお伺いしたうえで、当行が認識した課題や問題点を解決するための改善策などを提案、サポートしています。



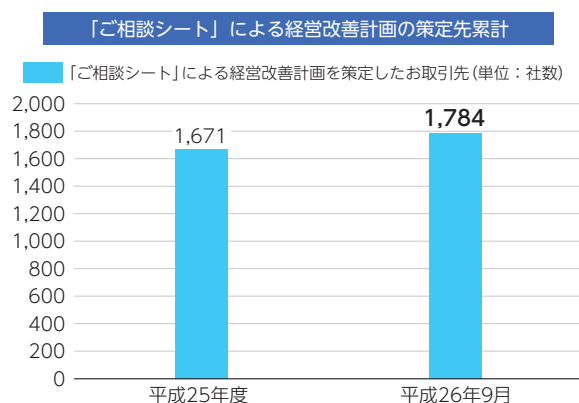
■経営改善計画の策定をサポート

「格付コミュニケーション・サービス」で認識したお取引先の課題や問題点の改善策の一つとして、「経営改善計画」の策定をサポートしています。また、策定した経営改善計画の進捗状況は適宜フォローし、お取引先の経営改善に向けた取り組みをサポートしています。



■「ご相談シート」でフォローアップ

中小企業金融円滑化法の施行(平成21年12月4日)以降、条件変更をお申し込みいただき、経営改善計画をこれから策定されるお取引先には、業績やこれからの事業計画を把握しやすい「ご相談シート」を活用しています。同シートを基に将来的な事業展開についてご相談にお応えするとともに、課題を共有し、お取引先の業績改善に向けて取り組んでいます。

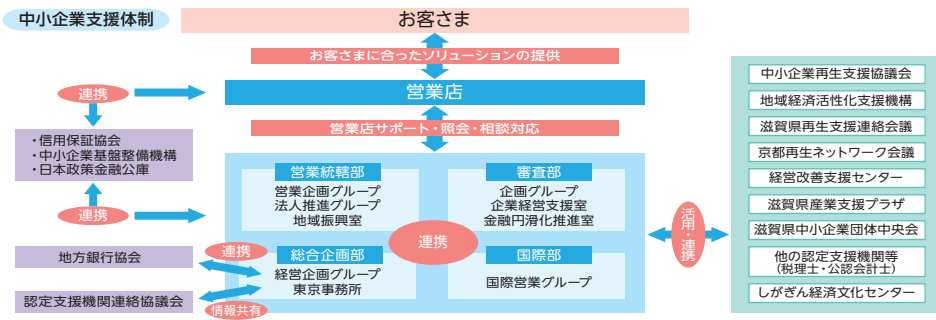


■お取引先の企業経営をバックアップ

業績改善に取り組まれているお取引先には、審査部「企業経営支援室」を中心に、一歩踏み込んだサポートを展開しています。同室は中小企業診断士資格などを持つ行員で編成し、経営支援ノウハウを積極的に活用するとともに、弁護士、公認会計士、税理士、コンサルティング会社などの外部専門家とも連携を強化してお取引先の経営を支援しています。

■お取引先のバックアップ体制

当行では、営業店と営業統轄部、審査部、総合企画部、国際部が連携し、お取引先のご要望やライフサイクルに応じた「事業支援」や「経営改善支援」に積極的に取り組んでいます。具体的には、売上向上策や経費削減策、財務内容改善策などの助言や組織再編、事業譲渡、M&Aなど多面的な再生スキームの構築などで必要に応じて外部専門家や外部機関等との連携を活用しています。



3. 中小企業の経営支援に関する取組状況

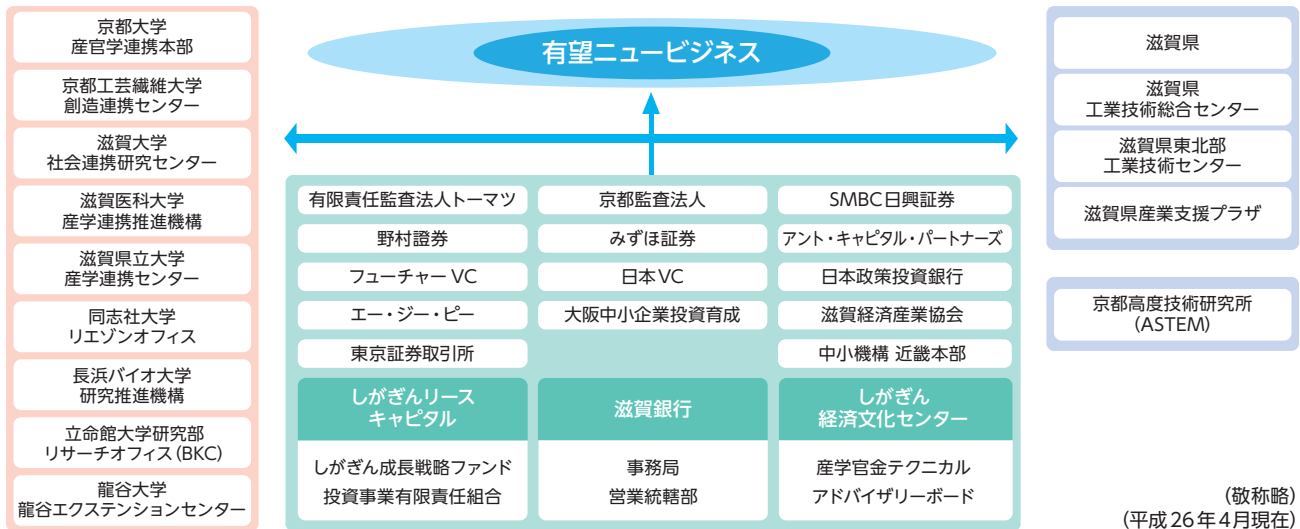
創業・新規事業開拓の支援

■ニュービジネスの育成

ニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」による産学官連携、「サタデー起業塾」開講によるニュービジネスのヒントの提供、多様な資金ニーズにお応えする「しがぎんニュービジネスサポート資金（融資実行累計125件、26億4,220万円：平成26年9月末現在）」や「しがぎん成長戦略ファンド」による出資など、幅広く活動しています。

- ・ **ビジネスフォーラム「サタデー起業塾」開講（平成26年5月）**
新たな成長を実現するニュービジネスの創出を年間テーマにニュービジネスのヒントを全5回で提供。
- ・ **しがぎん野の花賞**
平成25年度「しがぎん野の花賞」として5企業に総額50万円を贈呈。同賞は、産学官（産産含む）連携でニュービジネスに取り組み、成果を上げられた「サタデー起業塾」の受講生を表彰するもので、創設（平成15年）以来の累計は78先、総額780万円となりました。

しがぎん ニュービジネス支援ネットワーク 野の花応援団



成長段階における支援

■成長分野への取り組み

- ・ **「しがぎん成長戦略ファンド」設立（平成26年4月）**
成長を目指すお取引先を、ファンドからの投資を通じてサポートするために地域経済活性化支援機構（REVIC）と共同で設立（総額5億円）。11月末までに4社に出資。投資先企業の企業価値向上を目指します。
- ・ **クラウドファンディングへの取り組み**
内閣官房地域活性化統合事務局が平成26年10月に設立した「ふるさと投資」連絡会議に参画し、同設立シンポジウムで当行の取組事例を紹介しました。地域資源にスポットを当て、ファン層を拡大する観点よりミュージックセキュリティーズ(株)と連携し、これまで8件の小口ファンドが組成されています。



■アグリ

- ・ **「農・食」販路拡大セミナー」開催（平成26年12月）**
地元製品の販路拡大を目的として、(株)ぐるなびと連携し、3回目となる販路拡大セミナーを開催しました。
- ・ **「アグリビジネスローン」取扱開始（平成26年5月）**
滋賀県農業信用基金協会との債務保証契約に基づき、本ローンの取り扱いを開始。農業関連の資金需要にこれまで以上に幅広くお応えします。
- ・ **「しが農林漁業成長産業化ファンド」設立（平成26年9月）**
県内3信金、滋賀県信用組合、農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）と共同で設立（総額5億円）。平成26年10月には「しが6次産業化ファンドセミナー」を開催し、ファンドの概要や活用ポイント等の情報提供を行いました。お取引先の6次産業化を総合的にサポートしています。



■多様な金融手法の提供

・「滋賀健康創生」特区 利子補給金制度融資」取扱開始 (平成26年6月)

平成26年6月に、特区内で実施される「医療・健康管理機器開発・事業化推進事業」および「健康支援サービス創出推進事業」に対する利子補給制度の取り扱いを開始。金融サポート・ネットワーク会長行として、滋賀県民の健康と地域経済の発展を金融面から積極的にサポートしており、「医療・健康管理機器開発・事業化推進事業」、「健康支援サービス創出推進事業」の各事業で第1号案件を融資しました。

・環境省が実施する「環境配慮型融資促進利子補給金交付事業」取扱金融機関に選定 (平成26年6月)

環境格付融資「琵琶湖原則支援資金（環境省利子補給活用プラン）」の取り扱いを開始しました。

・「でんさいファクタリングサービス」取扱開始

でんさいの仕組みを活用した新たな資金調達手法を提供するために本サービスを独自開発し、平成26年3月より取り扱いを開始しました。あらかじめ支払

企業、納入企業、当行の三者間で契約を締結することにより、納入企業が受領した「でんさい」を当行がノンリコースで買い取りしています。

・CSR私募債「つながり」取扱開始 (平成26年11月)

私募債を発行した場合、発行金額の0.2%相当額を当行が拠出し、お取引先が希望される国公立学校等へ物品を寄贈します（近畿地銀で初めての取り扱い）。

■ビジネスマッチング

・エコビジネスマッチングフェア2014 (平成26年7月)

7回目となる環境に特化した商談会「エコビジネスマッチングフェア2014」を開催し、86社・団体が出展。1,660



名の来場があり、705件の商談が繰り広げられました。

・「地方銀行フードセレクション2014」を開催(平成26年10月)

全国の地方銀行38行共同主催で開催した本フェアに、当行のお取引先8社が出展されました。

海外ビジネスサポート

■コンサルティングメニュー

「アジアに強いしがぎん」を実践するため、さまざまなコンサルティングメニューをご用意しています。近畿地銀で唯一の海外支店である香港支店をはじめ、上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所の海外3拠点と本部アジアデスクを結ぶネットワークで、お取引先の海外ビジネスをサポートしています。



【コンサルティングメニュー例】

- ◆貿易業務の相談・アドバイス ◆人民元決済の相談・アドバイス
- ◆海外進出のサポート・アドバイザー業務

	進路相談	探しモノ相談	困り事相談
案内	投資環境資料提供 現地実査帯同	展示会帯同	現地視察帯同
アドバイザリー契約	進出可否検討 撤退、移転検討	M&A	現地拠点運営 各種相談
営業支援	海外拠点設立 海外拠点閉鎖	商談会 展示会出展支援	社内規定変更等 海外拠点登記 事項変更等

- ・投資環境や各種制度に関する情報提供、海外企業の信用調査
- ・海外展開一貫支援ファストパス制度
- ・セミナー、視察ミッションの開催
- ・外貨建資金の運用サポート ・海外でのビジネスマッチング

【業務提携・協力銀行等】

銀行名	提携・協力時期
①カナディア銀行 (カンボジア：プノンペン)	平成26年12月
②株式会社国際協力銀行 (東京都)	平成26年 8月
③ベトナム銀行 (ベトナム：ハノイ)	平成25年12月
④香港貿易発展局 (香港)	平成25年 9月
⑤メトロポリタン銀行 (フィリピン：マニラ)	平成25年 7月
⑥タイ国投資委員会 (タイ：バンコク)	平成25年 6月
⑦インドステイト銀行 (インド：ムンバイ)	平成25年 2月
⑧バンクネガラインドネシア (インドネシア：ジャカルタ)	平成24年 9月
⑨バンコック銀行 (タイ：バンコク)	平成20年11月
⑩カシコン銀行 (タイ：バンコク)	平成20年11月
⑪中国銀行 (中国：北京)	平成15年 6月
⑫中国工商銀行 (中国：北京)	平成14年11月

平成26年6月

- ・「第38回『しがぎん』アジアセミナー」開催
ご要望にお応えし、三重県では2回目となるアジアセミナーを開催。ASEANの最新情報等を紹介しました。
- ・「第2回アジア展開セミナー」開催
滋賀県との「地域密着連携協定」の一環で本セミナーを開催。メコン地域のビジネス環境について紹介しました。

平成26年8月

- ・「国際協力銀行（JBIC）と業務協力協定」締結
日本政府100%出資のJBICとの締結により、世界各国の投資環境情報の提供や現地通貨での資金調達等のサポートが充実します。



平成26年11月

- ・「チャイナビジネスセミナー&交流会in上海2014秋」開催
地方銀行6行で開催。各行のお取引先のビジネス交流の機会となりました。

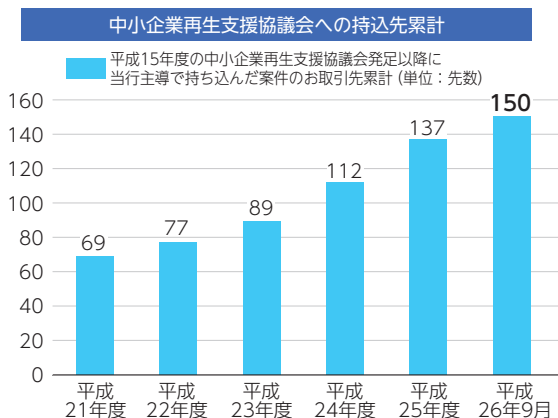
平成26年12月

- ・カンボジア カナディア銀行と業務提携
企業のカンボジア進出をサポートするため、大手商業銀行であるカナディア銀行と業務提携しました。
- ・「第3回アジア展開セミナー」開催
海外事業展開の成功に欠かせない現地での情報収集や発信の方法、インドネシア進出の成功事例を紹介。
- ・「地銀合同セミナー・交流会@広州」を初開催
注目の中国広東省地域への進出をサポートするため、セミナーを開催。交流会もにぎわいました。

経営改善・事業再生・業種転換等の支援

■抜本的な事業再生支援の取り組み

財務の再構築を含めた抜本的な経営改善が必要なお取引先には、DDS（デット・デット・スワップ）などの金融支援を伴う本格的な事業再生支援にも取り組んでいます。



金融支援を含む事業再生は、公正中立な第三者機関である中小企業再生支援協議会等と連携を強化し、お取引先企業の再生に全力をあげています。

経営改善計画に基づいて実施した金融支援：26先(重複あり)

DDS（債務の劣後化）	17先
DES（債務の株式化）	3先
DPO（債権譲渡）	8先

再生支援の取組実績

M&Aスキーム	14件
うち民事再生法等の活用	3件
うち私的整理型M&A	11件
第2会社方式スキーム	4件

主な外部専門家連携先(中小企業再生支援協議会除く)

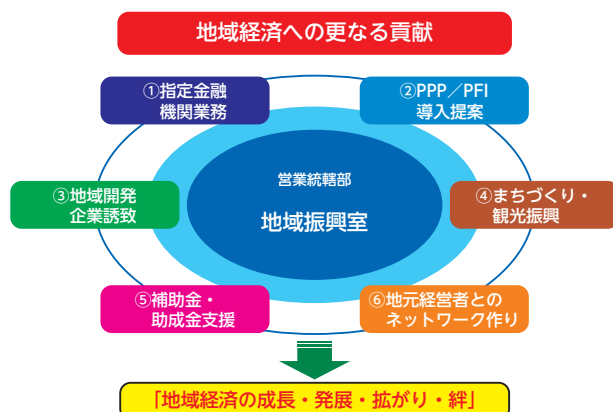
コンサル会社	23先
弁護士、法律事務所	5先
その他専門家	7先

(平成26年9月末現在)

4. 地域の活性化に関する取組状況

■地域振興室

「地域経済への更なる貢献」の実践に向けて、平成25年4月、営業統轄部内に「地域振興室」を設置しました。地域振興室では、従来からの地方公共団体等との取引に関する業務やお取引先向け講演会やセミナーの企画、運営に加え、地方公共団体等との連携を強化し、官民連携のパイプ役を通じた地域経済の活性化に取り組んでいます。



地域振興室の新たな取り組み

- ① 公共施設等整備に対する官民連携の推進
- ② 地域課題の解決を通じた地域活性化への取り組み
- ③ 地域開発、企業誘致等への積極的な関与

平成26年7月

- ・「滋賀まちづくり会社フォーラム」へ参画

本フォーラムは全国初の県域まちづくり会社組織で、県内まちづくり会社の相互連携、協働化による共生（ともいき）社会の実現を目的に設立。当行は地域課題の解決に向け、地域活性化やまちづくりへの取り組みを強化していきます。

- ・しがぎんPPP/PFIセミナー開催

滋賀県内の地方自治体および民間事業者を対象に「しがぎんPPP/PFIセミナー」を開催。地域課題である公共施設等の老朽化問題の解決につながる情報の提供、事例紹介を行いました。